

# 急がれる亀井田橋着工

3月8日に予算特別委員会を設置し、委員長に遠藤宏司議員、副委員長に村岡藤弥議員を選出しました。その後、3月9日〜11日まで課別審査を実施し、平成23年度予算に  
 関して各課長より詳細な説明を受けました。  
 3月14日の本会議では、遠藤委員長が小林議長に予算特別委員会の審査結果を報告し、  
 全議員による質疑・討論がおこなわれました。平成23年度一般会計・特別会計予算とも  
 に全員賛成で可決しました。

## 一般会計

芳賀 清委員

亀井田橋の進捗は、建設課長 23年度に用地買収と橋脚1本、24年度にもう1本を建設し、25年度に完成の予定だが、国の予算により26年になる可能性もある。4月下旬に豊田・川前地区で説明会を開く予定。

小玉 勇委員

一人暮らし老人等の除雪助成費が少ないのでは、また、災害時の要援護者支援計画の委託策定を早急にすべき。  
 地震時、防災無線が聞こえなかったが、保健福祉課長 雪の状況により、補正対応していく。支援計画は策定に向

け努力する。  
 総務企画課長 防災放送システムは無線ではなく、電気がないと使えない。停電時は、広報車3台で対応している。

村岡藤弥委員

廃校には全面立ち入り禁止で、開校している4校のみ開放していくのではなく、今まで通りに廃校も開放してほしい。  
 町長 管理と責任問題があるが、開放に向け十分検討していく。

齋藤公一委員

町税も落ち、保険税の滞納も増えている。町民の収入を増やすには何をすべきか、考えがあれば伺いたい。  
 町長 秘策があれば教え

大山二郎委員

廃校舎等は、教育委員会管轄から一般町有財産になるが、維持管理の予算がない。廃校利用検討委員会の立ち上げが遅い  
 など、町長の指導力がない。公約とあわせ、今後どうする考えか。  
 町長 状況がわからない中で、遅れたのは事実。地元のニーズを十分考え、年度途中からでも補正を組むなどして要望に応えられるようにしたい。また、公約も任期中に可能な限り政策化していきたい。



亀井田橋の早期着工を

星川 久委員

震災先への出稼ぎ者の安否は確認しているか。  
 生活安定資金や高齢者住宅資金等、あまり使われないような制度はやめて、条例も改正すべきでは。  
 産業振興課長 安否確認はしていない。  
 資金の利用度が低いのは、承知しているが、それは（金融機関が）町より有利な制度を利用するよう勧めているため。  
 町長 制度資金は、保証制度的要素があり、やむを得ずやっているのが実態。今後も利用が進むよう研究していく。

青木久子委員

予算における中学校の水道光熱費が高すぎる。特に電気料は、日頃から儉約に努めるべき。省エネへの対応をどう考えている。  
 教育文化課長 統合してまだ実績が出ていない。今回は設計上の最大可能な金額を計上している。

遠藤宏司委員

一中解体時に出た有価物（鉄骨）のトン数と売却益の報告はあったのか。また、5校が廃校になるが、交付税は減額されるのか。そして、廃校舎等の不要物を選別し、ネットオークション等で売却できないか。  
 町長 トン数・金額の報告は受けていない。車や嗜好品等は、単品であればオークションも可能だと思うが、設計を要し契約するようなものについては難しい。  
 教育文化課長 鉄骨の売却は設計上より少ない235トンだったが、入札は有価物の売却益を差し引いた予定価格で、なおかつその他全てを請け負っている。  
 総務企画課長 廃校による交付税の減額はあるが、緩和措置や利用の仕方に

## 特別会計

大山二郎委員

国保会計は、毎年多額の医療費支出により基金の取り崩しが続き、23年度末で3000万くらいになろうとしている。今後、どうしても国保税の値上げを検討せざるを得ない状況にきている。町民へどう理解を求めているか。  
 また、医療費の増高を抑えるために、予防医療に取り組む必要があるが、町長の考えは。  
 町長 値上げは微調整型でいくべきと考え、税率改定を検討してもらう。予防事業としては、ドックや個別検診等の強化により、早期発見早期治療を徹底していく。これが国保会計を豊かにする道だ。

## 予算特別委員会審査報告



予算特別委員会委員長 遠藤 宏司

平成23年第1回定例会本会議から付託された、議第13号平成23年度大石田町一般会計予算と、議第14号より議第21号までの8特別会計予算について、3月9日から11日まで課別審査の後、14日に総括審査を行い、関係職員出席を求め詳細な説明を受け、慎重に審査しました。

11日に歴史に残る東日本大震災があり、町の防災放送がならないことや震災先への出稼ぎ者の安否確認の問題、廃校になる小学校5校の維持管理費の予算がない問題、町税の落ち込み、国保税の滞納問題、町有財産を有効に処分し財源確保する問題などについて議論しました。  
 採決では、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 第1回臨時会

一般会計に2億5169万円を追加補正

2月3日第1回臨時会が開会され、一般会計補正予算及び学校給食事業特別会計の増額補正の2議案が提案された。  
 提案内容は、一人暮らし老人等に対する除雪助成金575万円や道路除雪費6515万円、さらにはきめ細かな緊急総合経済対策費5350万円、住民生活に光をそそぐ緊急総合経済対策費2600万円などです。  
 学校給食事業特別会計の補正内容としては、給食センターの屋根改修工事費や食器等の備品購入費などで、総額に2650万円を追加補正したものでした。  
 3人の議員が質問した後、採決に入り全員賛成で可決し閉会しました。